

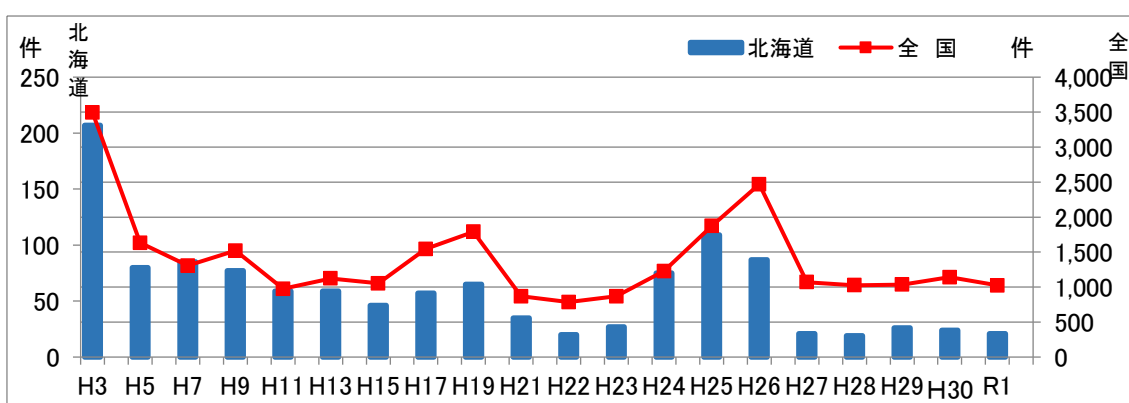
# V 工業立地動向

## 1 工場立地件数及び敷地面積

- 本道における令和元年の工場立地は、件数で21件(前年比3件減)で、昨年を下回った。なお、電気業を除いた立地件数は、18件であった。全国においては1023件で前年比119件減となった。立地面積については、43haで、前年(18ha)より増加した。全国においては1290haで前年(1320ha)を下回った。
- 立地件数の動向を見ると、昭和40年代の後半は、地域開発法の整備と合わせ、工業団地開発の活発化など市町村の工業誘致機運の高まりなどを背景に高水準で推移したが、48年の第1次石油ショック以降、大幅に減少しており、時々の景気動向や経済社会情勢等の変化を反映し、いくつかのサイクルを経て今日に至っている。
- 昭和62年以降の景気拡大及び大都市圏における立地条件の悪化などを背景に、63年から200件台へと大幅に増加し、平成元年には277件と過去最高の件数となった。その後バブル崩壊を契機とした長期景気低迷の影響を受け、減少傾向で推移し、平成5年以降100件未満の低水準の状況にあったが、国の景気回復に伴う設備投資の活発化などにより平成15年から5年連続で増加したものの、平成20年には世界的不況の影響などから大きく減少した。

●工場立地動向の推移

【立地件数】

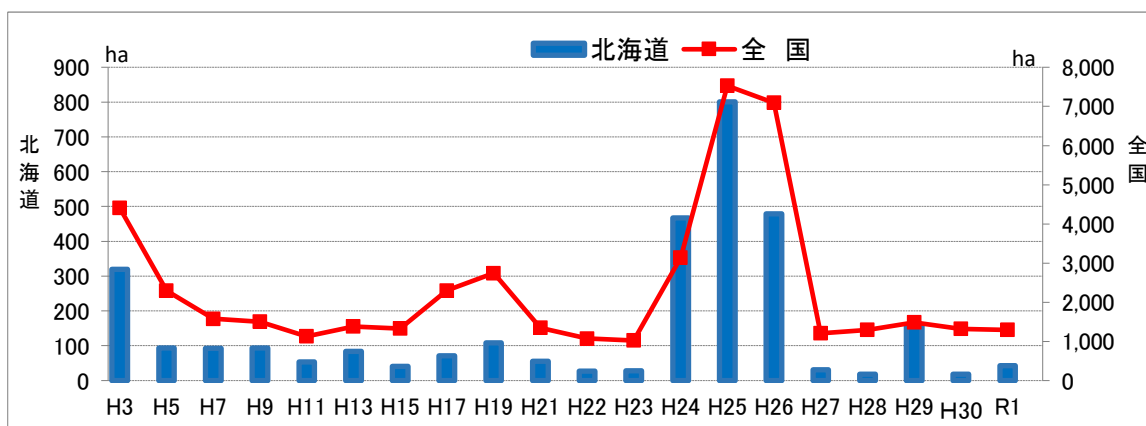


(単位:件、%)

	H3	H5	H7	H9	H11	H13	H15	H17	H19	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
北海道	207	80	85	77	59	59	46	57	65	35	20	27	75	109	87	21	19	26	24	21
全国	3,495	1,633	1,307	1,519	974	1,123	1,052	1,544	1,791	867	786	869	1,227	1,873	2,470	1,070	1,026	1,035	1,142	1,023
比率	5.92	4.90	6.50	5.07	6.06	5.25	4.37	3.69	3.63	4.04	2.54	3.11	6.11	5.82	3.52	1.96	1.85	2.51	2.10	2.05

注1:工場を建設する目的で、1,000㎡以上の用地(借地、増設を含む)を対象。  
 ※平成27年調査からは、電気業のうち太陽光発電所を調査対象外としている。  
 2:研究所を除く。  
 3:工場立地動向調査(経済産業省)による。

【立地敷地面積】



(単位:ha、%)

	H3	H5	H7	H9	H11	H13	H15	H17	H19	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
北海道	320	94	93	94	54	84	41	71	108	55	27	28	467	801	479	31	18	157	18	43
全国	4,403	2,290	1,576	1,499	1,125	1,379	1,330	2,298	2,741	1,343	1,072	1,023	3,138	7,527	7,095	1,208	1,297	1,484	1,320	1,290
比率	7.27	4.10	5.90	6.27	4.80	6.09	3.08	3.09	3.94	4.10	2.52	2.74	14.88	10.64	6.75	2.57	1.39	10.58	1.36	3.33

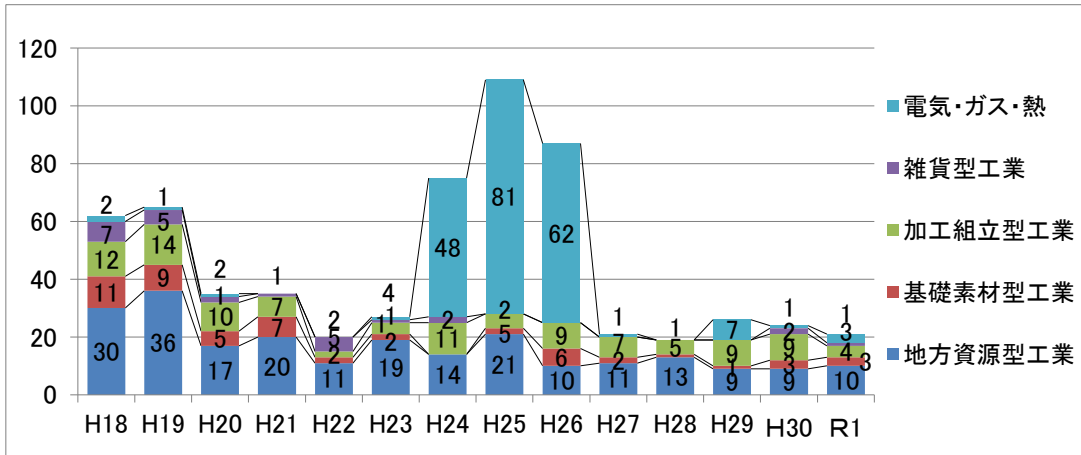
注1:工場を建設する目的で、1,000㎡以上の用地(借地、増設を含む)を対象。  
 ※平成27年調査からは、電気業のうち太陽光発電所を調査対象外としている。  
 2:研究所を除く。  
 3:工場立地動向調査(経済産業省)による。

## 2 業種別立地件数

- ・ 本道における令和元年の立地件数を業種別にみると、地方資源型が10件（構成比47.6%）と最も多く、次いで、加工組立型が4件（同19.0%）となっている。
- ・ 北海道の立地動向でみると、全国と比較して地方資源型が高く、基礎素材型工業の構成比が低い傾向にある。

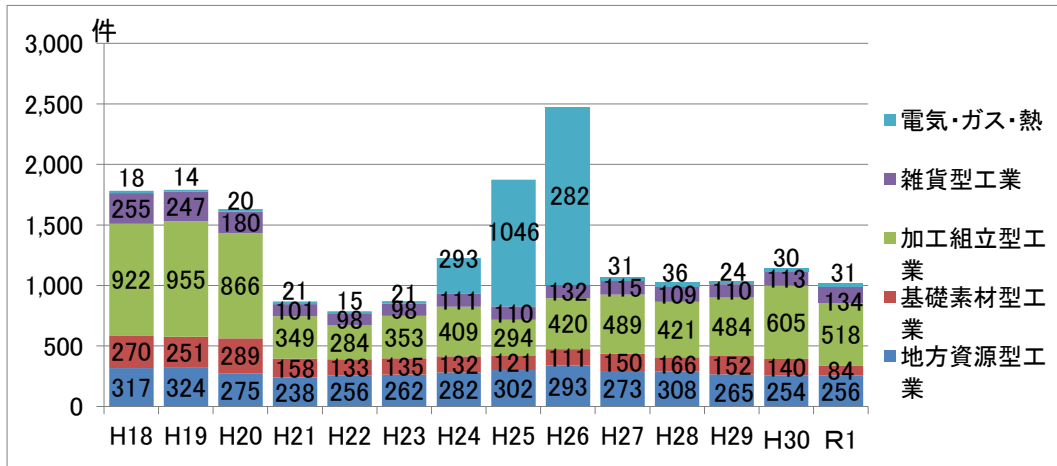
### ●業種別立地件数の推移

#### 【北海道】



注：工場立地動向調査（経済産業省）による。

#### 【全国】

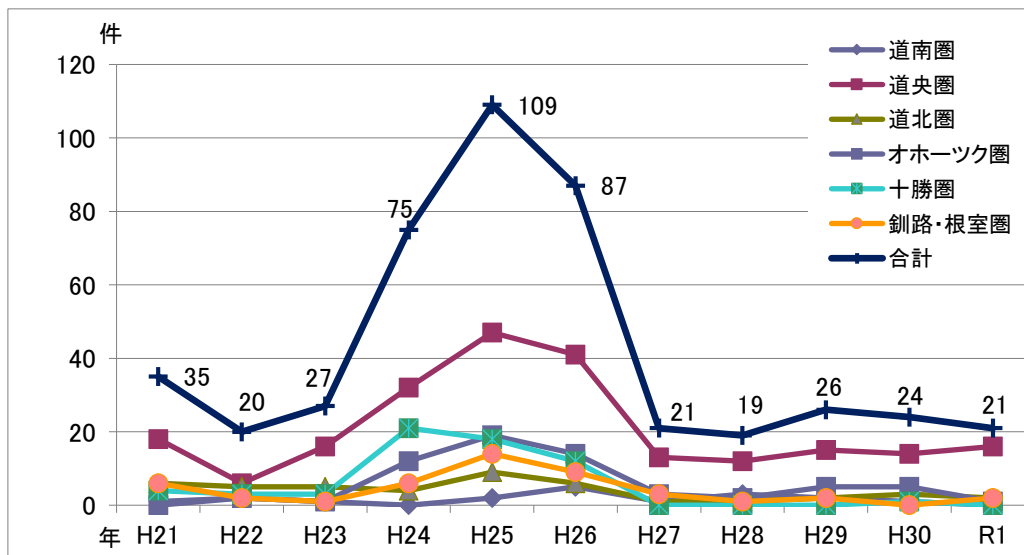


注：工場立地動向調査（経済産業省）による。

### 3 地域別立地件数

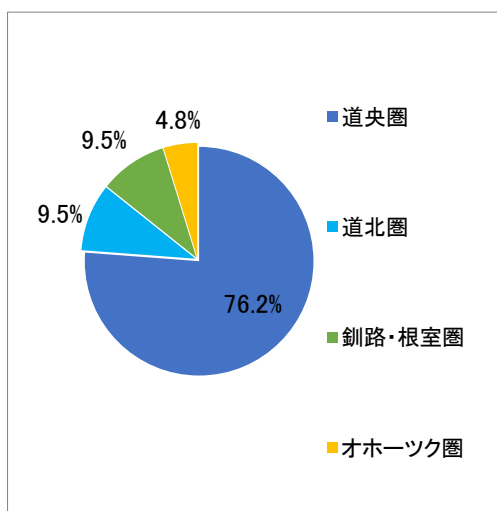
- ・ 本道における令和元年の地域別立地件数は、道央圏が16件(構成比76.2%)と最も多く、次いで道北圏、釧路・根室圏が2件(同9.5%)、オホーツク圏が1件(同4.8%)、道南圏、十勝圏が0件(同0%)の順となっている。
- ・ 総合振興局・振興局別では、石狩が8件(構成比38.1%)と最も多く、次いで後志が5件(同23.8%)、空知、釧路、上川が各2件(同9.5%)、胆振、オホーツクが各1件(同4.8%)、渡島、檜山、日高、十勝、留萌、宗谷、根室が各0件(同0%)の順となっている。

#### ●地域別立地件数の推移及び動向(北海道)

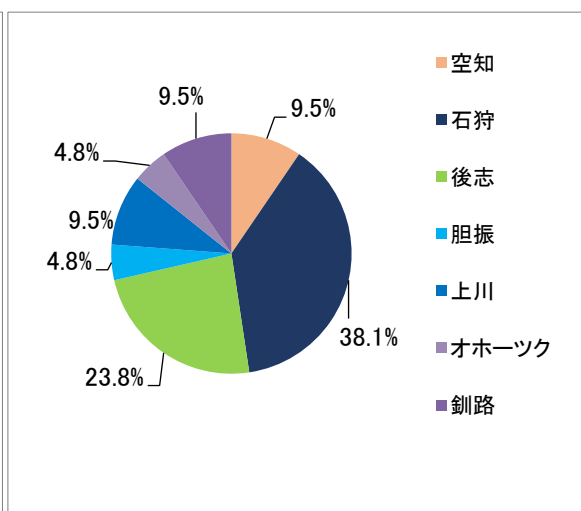


	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
道南圏	1	2	1	0	2	5	1	3	2	1	0
道央圏	18	6	16	32	47	41	13	12	15	14	16
道北圏	6	5	5	4	9	6	1	1	2	3	2
オホーツク圏	0	2	1	12	19	14	3	2	5	5	1
十勝圏	4	3	3	21	18	12	0	0	0	1	0
釧路・根室圏	6	2	1	6	14	9	3	1	2	0	2
合計	35	20	27	75	109	87	21	19	26	24	21

【令和元年 圏域別構成】



【令和元年 総合振興局・振興局別構成】



#### 4 工業団地の状況

- ・ 道内には、令和2年10月現在、222の工業団地があり、地域別には道央圏が144団地と最も多く、次いで、十勝圏26団地、道北圏20団地、道南圏15団地、釧路・根室圏13団地、オホーツク圏4団地となっており、全道の団地の約3分の2が道央圏に集中している。
- ・ 222工業団地の団地総面積は、24,609haであり、このうち分譲対象面積(工業等用地面積)が14,908haで、分譲済面積が8,819ha、分譲率は59.2%となっている。

##### ●地域別工業団地の概況(令和2年10月現在)

(単位:ha、%)

圏 域	工業団地数		工業団地 面積	工業等用地 面積	分譲済面積	分譲中面積	分 譲 率	
		うち 分譲中						
道 南 圏	15	6	280	213	182	17	85.4	
	渡島 檜山	15	6	280	213	182	17	-
道 央 圏	144	58	21,646	12,869	7,092	5,377	55.1	
	石狩 後志	49	13	5,466	3,056	2,361	358	75.3
	胆振	5	3	206	130	113	11	86.9
	日高	36	19	14,473	8,403	3,621	4,726	43.1
	空知	1	1	8	6	4	3	66.7
道 北 圏	20	10	389	289	254	19	87.9	
	上川	15	7	244	208	185	16	88.9
	留萌	1	0	8	6	6	0	100.0
	宗谷	4	3	137	75	63	3	84.0
オホーツク圏	4	3	169	110	99	11	90.0	
	オホーツク	4	3	169	110	99	11	90.0
十 勝 圏	26	13	1,267	741	643	80	86.8	
	十勝	26	13	1,267	741	643	80	86.8
釧路・根室圏	13	10	858	686	549	103	80.0	
	釧路	12	9	847	681	547	100	80.3
	根室	1	1	11	5	2	3	40.0
合 計	222	100	24,609	14,908	8,819	5,607	59.2	

※工業団地台帳(北海道)による。